

県内高卒求人

過去最高4.21倍

8月末現在

秋田労働局は、来春卒業予定の高校生に対する県内求人倍率（8月末現在）を4・21倍と発表した。数値が確認できる1988年度以降、8月末現在として過去最高。県内求人数は4758人で前年同期を4・5%（203人）上回った。

産業別では、製造業が14・1%（189人）増の1526人。木製品製造業や電子デバイス製造業などで大幅に求人数が増加した。慢性的な人手不足が続いている建設業は5%（54人）増の1134人。卸売・小売業は9・9%（53人）増の589人、宿泊・飲

食サービス業は1・1%（2人）増の182人だった。医療・福祉は8・8%（40人）減の417人。最も求人数が多い介護職の募集が減少した。

就職を希望する生徒の数は前年同期比7・2%（118人）減の1525人。このうち県内就職希望は1131人。就職希望の生徒全体に占める割合は前年同期比4・1%減の74・2%だった。高校生への選考と内定は9月16日に始まっている。

（川村優衣）